

令和6年度 職員の給与の男女の差異の情報公表

特定事業主名： 京都市上下水道局

1. 全職員に係る情報

職員区分	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
任期の定めのない常勤職員	81.5%
任期の定めのない常勤職員以外の職員	80.6%
(暫定再任用職員)	(90.2%)
(フルタイム会計年度任用職員)	(105.0%)
(パートタイム会計年度任用職員)	(117.7%)
(臨時的任用職員)	(97.0%)
全職員	83.9%

* 職員の給与については、条例で定める基準に基づき決定しており、給与制度上、男女で差異は設けていない。

* () 内は、「任期の定めのない常勤職員以外の職員」に係る内訳。

* 「任期の定めのない常勤職員以外の職員」全体の差異は、任用・勤務形態ごとの給与水準、男女の構成比率等が異なるため、内訳の単純平均とならない。

2. 「任期の定めのない常勤職員」に係る役職段階別及び勤続年数別の情報

(1) 役職段階別

役職段階	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
局長級・部長級	—%
課長級	98.1%
係長級	92.2%

* 局長級・部長級には女性の職員がいないため、「—」表示となっている。

(2) 勤続年数別

勤続年数	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
36年以上	91.0%
31～35年	91.7%
26～30年	87.3%
21～25年	84.1%
16～20年	84.2%
11～15年	76.3%
6～10年	88.6%
1～5年	93.4%

【説明欄】

[任期の定めのない常勤職員に係る男女の給与の差異の主な要因]

- これまでの採用状況等の影響により、女性職員の平均年齢が男性職員より低いこと。
- 係長級に占める女性職員の割合が相対的に低いこと。引き続き、女性職員の一層の昇任意欲の喚起等に取り組む。
- 部分休業等、仕事と子育てが両立できる制度の利用が女性職員に多いこと。

* 勤続年数は、採用年度を勤続年数1年目とし、情報公表の対象となる年度までの年度単位で算出している。